



平成 28 年 12 月 臨時号
 尼崎市立園和北小学校
 校長 日 秋 恒 治

園和北小学校の現状と課題（全国学力・学習状況調査をもとに）

冬の訪れとともに、平成 28 年も残り少なくなってきました。日頃から本校教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

毎年 4 月に 6 年生の児童を対象に全国学力・学習状況調査が行われています。全国学力・学習状況調査では、国語、算数の 2 教科と、生活状況について児童にアンケートを取る児童質問紙の調査があります。国語、算数については、A 問題(主に「知識」に関する問題)と、B 問題(主に活用に関する問題)があります。また、理科は 3 年ごとに理科の調査も行われることになっており、昨年度実施されたため今年度は実施されていません。

この結果を考察し、学校での対応を考えることにより、今後の園和北小学校の児童の学力向上に努めていきたいと考えています。

1. 国語について

- ・昨年度はほぼ全国平均並みの正答率だったが、今年度は A 問題、B 問題ともに低くなっている。
- ・領域別にみると「読むこと」に関しては、A 問題に関してはほぼ全国平均であるが、B 問題についてはかなり下回っている。長文や難解な文章に関して読解力が不足していると考えている。
- ・「言語文化・国語の特質」は、全国平均に比べて低い。今までに習った漢字やローマ字の定着が不十分であると考えられる。

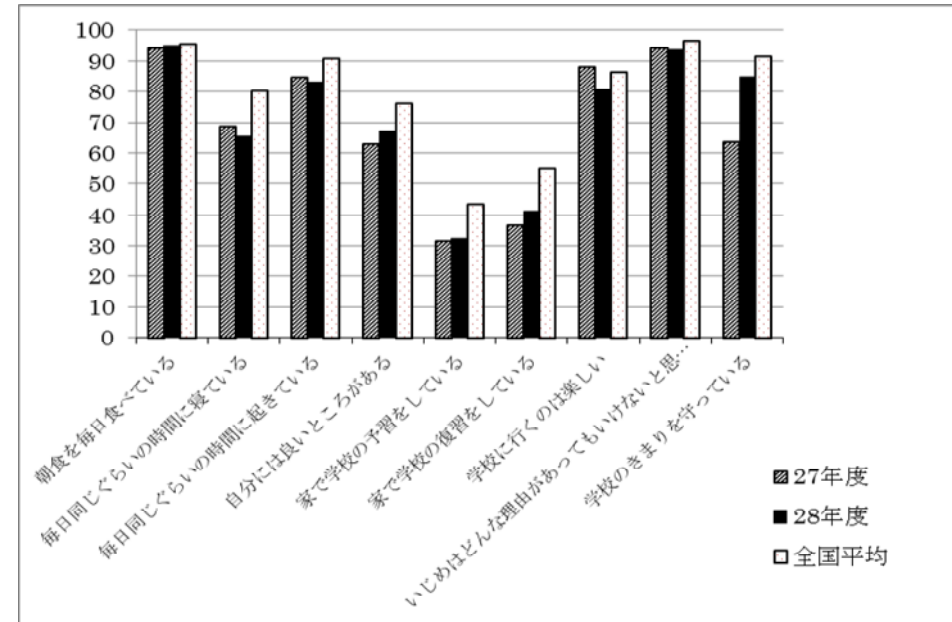
2. 算数について

- ・昨年度は、A 問題は全国平均をわずかに上回っていたが、今年度は A 問題、B 問題とも下回っている。特に、図形の領域の正答率が低かった。
- ・「数と計算」の領域も、他の領域に比べて差は小さいが、全国平均を下回っている。

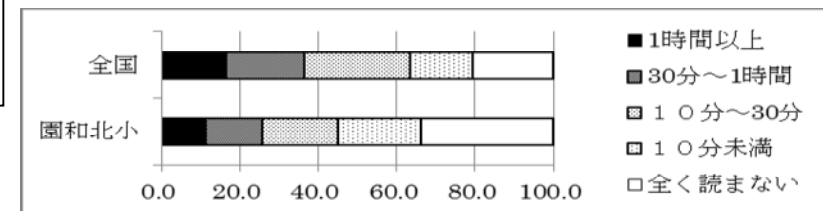
4. 児童質問紙について

- ・生活アンケートでは全国平均と比べても気になる項目が多いが、数値的には昨年度と比べると改善されている項目もある。
- ・朝食はほぼ全員食べているが、寝る時間や起きる時間が不規則な児童が多い。
- ・自分に自信を持っていない児童が多い。
- ・家で予習・復習をしている児童は少なく、家庭学習の時間が短い児童も多い。
- ・読書の時間が、全国平均と比べて少ない。このことが、長文の読解力不足にもつながっていると考えられる。

児童質問紙より



1日の読書時間
(授業以外)



全国学力・学習状況調査から考察できる、園和北小学校の児童の実態については以上のとおりです。学力については、全国平均をめざし、子ども達の学力向上に努めていきます。

そのためにも、学校としては、

- ・どのクラスも落ち着いた雰囲気での学習できるよう適切な学級経営に努め、「学習規律のてびき」をもとに、1時間1時間の授業を大切にする。
- ・「家庭学習のてびき」を参考にして、宿題だけではなく、予習復習をする習慣をつける。
- ・読書活動を充実させる。
- ・木曜日 6 校時に補充学習を行う。
- ・月曜日、クラブ・委員会のない日に 5、6 年生は授業を実施する。

等、学校全体で統一した取り組みを行い、子ども達の学力向上に努めたいと考えています。ご家庭でも、子ども達に意欲や自信を持たせるような声かけをお願いします。